

コンクリート委員会 第3種委員会

「地震作用に対するコンクリート構造物の時空間性能評価研究小委員会（第2期）」の委員募集
応募締切：2026年6月22日[月]

コンクリート委員会では、下記の研究小委員会を発足させることになりました。積極的に活動に参加してくださる委員を募集しますので、奮ってご応募下さい。なお、本委員会はコンクリート委員会の第3種委員会のため、委員会出席のための旅費等は支給されません。

1. 委員会名称

地震作用に対するコンクリート構造物の時空間性能評価研究小委員会（第2期）

2. 構成

委員長：高橋 良輔（北海学園大学）

幹事長：坂口 淳一（(株) HRC 研究所）

委員：公募による委員

3. 委員会設立の主旨・目的

地震作用に対するコンクリート構造物の時空間性能評価研究小委員会（以後、本委員会）は、兵庫県南部地震以降の30年における構造解析技術の進歩や我が国の社会的な状況の変化や課題を念頭に、コンクリート構造物の地震作用に対する性能照査技術の高度化と時間軸を通じた性能照査の枠組みの構築を目的として活動しています。

本委員会の第1期の活動では以下の内容に取り組み、その成果を「コンクリート技術シリーズ138号」に取りまとめました。

- ・ 地震作用に対するコンクリート構造物の性能照査法の高度化のための基礎資料に資する、我が国の耐震設計の変遷と主な地震被害、被災構造物の修復方法の整理
- ・ 非線形有限要素解析を用いた耐震性能評価の体系の整理と検討事例の例示
- ・ 3次元非線形有限要素解析を活かした構造物の復旧性の評価手法（復旧工程および復旧時間の算出）の提案と試行
- ・ 非線形有限要素解析を活用した時空間性能評価の実例と時空間性能評価を支える技術の整理
- ・ 耐震技術に関する研究小委員会の委員長経験者へのインタビューによる、当時の耐震技術者の議論と精神との継承

本委員会の第2期の活動では第1期の活動の成果を踏まえて、性能評価技術の高度化と時空間性能評価システムの検討の2つを軸に調査・研究を進めます。例えば、時空間性能評価の実現に向けた今後の課題として、第1期の活動の中で提示された以下の項目について取り組みます。

- ・ 各種補修工法による補修後の性能評価および損傷と修復の履歴が耐震性能に及ぼす影響の検討
- ・ 地震作用に対する時間軸上の性能評価のための作用履歴の検討
- ・ 地震作用に対する既設建造物の性能評価に必要な材料劣化モデルの検討
- ・ 有限要素解析結果に基づき算出した復旧工程および復旧時間の検証，汎用化と活用方法の提案
- ・ 有限要素解析を用いた復旧性の検討における損傷評価指標とその限界値の妥当性に関する検討
- ・ 機能の喪失/回復を指標とした照査方法の検討
- ・ 有限要素解析による構造全体系の終局評価方法および構造冗長性の評価手法の検討
- ・ 時空間を考慮した性能照査システムの提案

なお，本委員会では各委員が具体的検討に取り組むことで各々の技術水準を一段進めていただくとともに，その技術が将来の社会にどのように貢献できるのか，産・官・学の垣根を超えた議論を行いたいと考えております。若手を中心とした研究者・技術者の積極的な参画に期待します。

また，各委員が実施した解析等の個々の成果については，単に委員会の成果として取り纏めるだけでなく，個別あるいは共同研究論文として公表することを積極的に推し進めたいと考えています。

4. 活動方法

年数回の委員会と WG 会議を通して活動を行います。必要に応じて幹事会や，オンライン会議システム，E-mail による審議を行うことも予定しております。活動の期間は，第 1 回委員会からの 2 年間です。

5. 応募方法および申込先

本委員会に委員として参加を希望される方は，氏名，所属，電話番号，E-mail アドレス，関心のある内容を沿えて，6 月 22 日（月）までに下記の参加申込みフォームからお申し込み下さい。

参加申込みフォーム

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScf-OZRI0ctLVd7F3RF0JwZzqzThiRJQuSe6jb99CuBf5yxw/viewform?usp=header>